

企業名： 小糸製作所

レポート名： 統合報告書 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

今、小糸製作所の選択したプライム市場では、サステナビリティに関する高い水準の体制整備と活動推進が求められているため、競合企業と渡り歩くために、さらなる経営の客観性、透明性の確保に力を注ぎ、よりよい体制を作ろうと努めていることが理解できた。また、環境へのやさしさを求められる今の時代に配慮して、カーボンニュートラル達成を目標として事業活動を行っている。また、利益について、開発投資を積極的に行い、利益を前期よりも増加させていることが分かる。このことから、この企業は確実に利潤を生み出すことを前提に、社会課題の解決への貢献も努める優良企業を目指していることが分かった。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

この企業は、開発投資にかなり重点的に投資することで、時代や市場に先駆けた技術をいち早く創出している。また、技術力を競争力の源泉として、KOITOの技術センターを中心とした世界五極体制を確立している。このことから、小糸製作所は世界に誇る最先端技術を競争優位性として保有していることが分かる。また、CO2削減や環境負荷物質低減といった環境的価値や、LEDヘッドランプや夜間視界の改善、軽量化開発の推進といった安心・安全という価値を高めることで、社会への提供価値の高い企業として信頼性で他企業よりも競争優位性を保持しているともいえる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

環境、安心・安全の企業的価値について。排出量削減について、小糸製作所は2013年から主に設備増設や設備強化での対策を行っている。このことから、恒久的対策を行っているといえるため、この優位性には持続性があるといえる。しかし、2013年から2021年の八年間かけて23%の削減を達成していることを踏まえると、2030年までの9年間で27%削減するという目標は、現実的ではないのではないかと感じた。対策内容も、さらなる設備導入や、再生可能エネルギーの導入という記述では、実際の効果の見積もりなどが理解できず、優位性のさらなる強化という点では持続性を感じる事が出来なかった。また、2050年の

カーボンニュートラルを目指す目標も、完全ゼロを安易に挙げる割に具体内容の記述がなく、かえって信頼を落とすことになりえないかと懸念された。先端技術の企業価値について。ADB（Adaptive Driving Beam:配光可変ヘッドランプ）の高性能化、LiDARやカメラなどのセンシング技術開発、ランプ技術応用製品開発、スマートインフラ技術開発など、多様な開発を同時に行い、自動運転社会に対応する技術を様々な面から用意している点で現時点での力の入れ具合を感じられた。また、この統合報告書でも戦略の①に掲げている点と投資を多額かけていることから、持続性も感じる事が出来た。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

小糸製作所では、人材戦略としてコミュニケーション&コラボレーションのキーワードの下で、一人ひとりの持つ知識・経験・気づき・問題意識の共有を多様な手段により促進し、全員参加で課題に取り組む生き生きとした職場づくりや一人ひとりが確実に成長を実感し、新たな挑戦に取り組む人材の育成を目標に人材育成を行っている。このことから、自ら考え、主体的に動く力を身に付け、自分自身の成長につなげることが出来ると思った。また、活躍推進の強化も目指されていることから、自分のやりたいことをさせてくれる企業なのだと感じた。この点では、大企業よりも動かせるプロジェクトの規模が大きいのではないかと感じ、仕事のやりがい追求しやすい職場なのではないかと予測でき、人的資本価値向上を達成できると思った。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

よかった点としては、グラフが多く使われており、説得力があったことと、具体的な取り組み内容が多く書かれていることで、企業の活動内容の把握がしやすかったことが挙げられる。前者としては、業績や排出削減量のパーセンテージなど、数値やグラフで見ることによって成果が見える化され、とても理解しやすかった。後者としては、生産、開発、調達、輸送、生産等、工程に分けて取り組み内容が複数書かれていたことが、企業の自社の分析力を感じることに繋がったと思った。改善余地としては、目標設定に現実性を持たせる、又は、実現に向けて必要なことをもう少し細かく記述することが挙げられると思った。一見すると、環境問題の解決への意欲がある企業に見えるが、よく分析すると、本当に問題解決をする気があるのか疑問に思ってしまう点があくつか見受けられた。企業側としては実現可能な目標なのかもしれないが、会社外の人はその判断をするのは難しいため、さらなる情報開示を行ってほしいと思った。